

研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
 電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
 E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
 ホームページアドレス http://manabi.pref.hokkaido.jp/

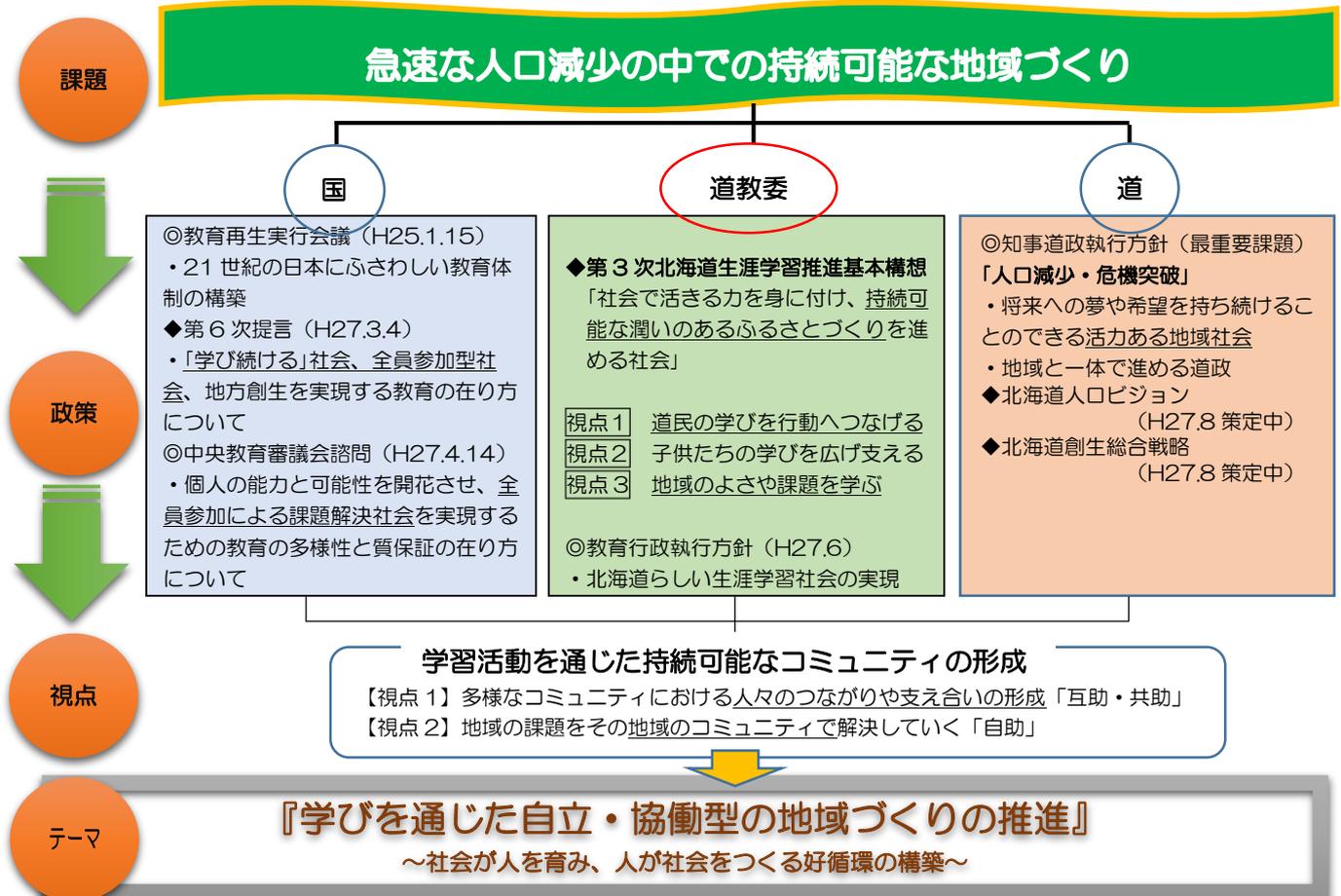


◆◆平成27年度課題対応型学習活性化セミナー終了◆◆

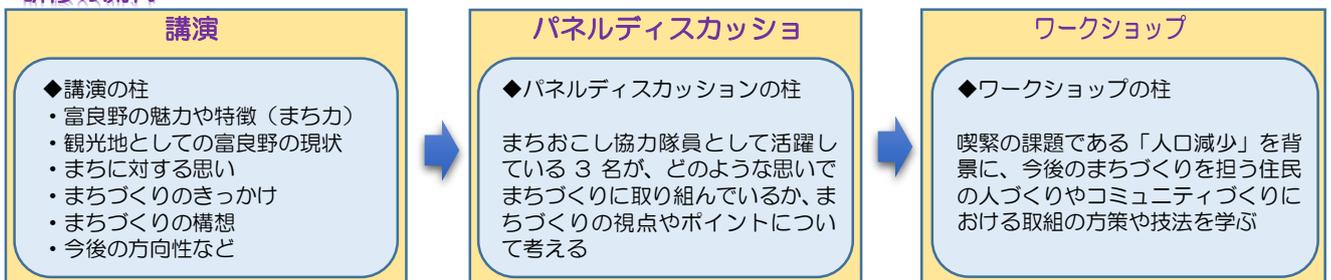
<研修テーマ> 「学びを通じた自立・協働型の地域づくりの推進」
 ～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環の構築～

平成27年9月3日（木）～4日（金）の2日間、道民活動センタービル「かでる2・7」を会場に、平成27年度課題対応型学習活性化セミナーを開催しました。市町村職員、社会教育関係者、民間団体（NPO等）関係者等59名が参加し、「人口減少」に視点を当て、住民の学習活動を通じた持続可能なコミュニティの形成について考えました。本号ではその研修内容のポイントを紹介します。

研修テーマと研修の流れ



研修の流れ

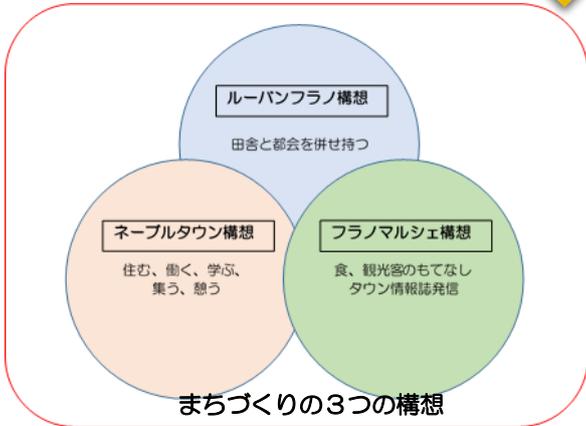


講演「責任世代のおやじたちが立ち上がった！官民一体の富良野づくり」
株式会社北印代表取締役社長
富良野まちづくり株式会社代表取締役社長
西本 伸顕 氏



子どもたちが誇れるまちをつくりたい…
責任世代の3人のおやじが結集
～教えてくれた5つの極意～

民が主体で行政はサポート
互いの得意分野で役割分担



- 極意その壱** まちの中に人の流れをつくる
観光客や地域住民の流れをまちの中心街につくる
- 極意その弐** 地域ブランドを活かす
元々、ポテンシャルが高いものを活かしたPRを企画
- 極意その参** 「まちづくり」から「まち育て」への意識転換
持続可能なまちづくりには育てる意識が大切
- 極意その四** イベントで終わらない
単発で終わるものは効果が無い
- 極意その五** まちづくりにビジネス感覚を
民が主体となりビジネス感覚でまちづくり

まちづくりに必要な3つのシジョン

- ①ミッション（使命感）②パッション（熱い想い）③アクション（具体的な行動）

パネルディスカッション
まちづくりに懸ける
地域おこし協力隊員の想い

コーディネーター
合同会社北海道観光まちづくりセンター
代表社員 **宮本 英樹 氏**

生まれ育ったまちでないからこそ
感じる魅力がある！

陸別町 地域おこし協力隊員
秋庭 智也 氏

日本一がたくさんあるこのまちで、まちの良さを活かした特産品を開発しています。今後は、まちに人の流れができる商品を開発したいです。

芦別市 地域おこし協力隊員
渡辺 晶子 氏

スポーツの盛んなこのまちで、テニスの経験を活かし、スポーツの振興に取り組んでいます。スポーツの合宿を誘致し、地元からトップアスリートを輩出するのが夢です。

中頓別町 地域おこし協力隊員
三浦 毅 氏

自然豊かなこのまちで自然体験活動と公園の管理に取り組んでいます。このまちに住み、今後も豊かな自然をPRしていきたいです。

**地域おこし協力隊3人が語る
持続可能なまちづくりに大切な視点とは**

地域で活用できる資源をどのように効果的に活かすか、住民が何を求めているかをしっかり考えて取組を行うことが大切。ずっとそのまちに住み続けるだけがまちづくりではない。外からそのまちをPR・応援することも重要。

ワークショップ1

コーディネーター：合同会社北海道観光まちづくりセンター
代表社員 **宮本 英樹 氏** / 業務執行社員 **草野 竹史 氏**

ワークショップ2

「人口減少」は現象。現象と課題をはき違えない

人口減少は悪いこと？

メリット・デメリットを踏まえ課題を探す

- ・自分が関わっているコミュニティの理想と現実を整理する
- ・現実－理想＝課題
- ・「マンダラート」で課題の洗い出し

課題の共有

メリット

- ・住民に目が行き届く
- ・土地を広く使える
- ・IT技術の進歩 など

デメリット

- ・働き手が不足
- ・子どもがいなくなる
- ・まちが消滅 など

参加者の学び

- ・具体的な課題へのステップと進め方がよくわかった。
- ・持続可能なまちづくりについて考えを深めることができた。
- ・自分が課題と思っていることが本当に課題なのか、外からの意見をもらうことが有効であるなど考え方の手法を学んだ。

自己実現できるチャンスがあるとコミュニティが伸びていく

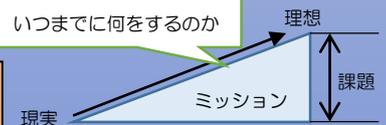
本当の課題は何か？

理想のコミュニティ

アクションプランづくり

宮本氏の実践から学ぶコミュニティ

- ・どういうコミュニティを創りたいのか？
- ・参画してもらうターゲットを絞る
- ・過去にあったものを再構築する
- ・「人」を変えるには「交流」が必要
- ・生産者と消費者との交流
- ・最後は学習の力



全体会

講義、WSで学んだ成果を生かして考えまとめる

共有

まちづくりに必要なコミュニティと住民参画の方策について明日からの取組を共有

理想

どんなまちにしたいのか？
人口減少に対応した持続可能なまちづくり

現実

現状はどんなの？
そのためどんなコミュニティが必要なの？

課題

コアコミュニティから、まち全体のコミュニティへ住民をどう参画させるか

●本研修会事業報告書について●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報 (<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>) 並びに「平成27年度主催講座一覧」(<http://manabi.pref.hokkaido.jp/center/jigyoh27/index.html>) に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、担当：久保 (☎ 011-231-4111 内線 36-325) まで御連絡ください。